



毎月 1 回 1 日 発行
 発行 社団法人 全国防災協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-2(虎ノ門東鉦ビル6F)

電話03(3508)1491 FAX03(3508)1493

発行責任者 加藤浩己

印刷所 (株)白橋印刷所



平成20年度 水防専門家派遣による活動状況
 (板野町町民防災訓練：徳島県板野町)

目 次

水防月間 2

平成21年度災害復旧事業設計単価・歩掛について 4

各県コーナー 「高知県」 5

査定官メッセージ 「査定生活 2 年目突入」 関 新次…10

新任査定官プロフィール 12

会員だより 「岩手・宮城内陸地震の復旧に向けて」 宮城県 菅原 幸也…14

協会だより 18

水 防 月 間

—洪水から守ろうみんなの地域—

—5月1日～5月31日—
(北海道6月1日～6月30日)

国土交通省河川局防災課

5月1日から5月31日（北海道にあっては6月1日から6月30日）は、水防の意義及び重要性についてご理解を深めていただくための「水防月間」です。

我が国は、地形、気象などの自然的条件に加え、急速な河川流域の開発という社会的要因により、洪水等による災害が起こりやすい環境にあり、毎年、豪雨や台風などにより幾多の尊い人命と多くの資産が失われております。

これらの水害を未然に防止し、安全で安心できる地域社会を実現するためには、治水施設の早急な整備が望まれるところですが、その整備には莫大な費用と長い年月が必要であり、水害の根絶が難しい現状のなかで、洪水時に応急対策として行われる水防活動は、ますます重要なものとなっております。

昨年も局地的な豪雨などにより、全国各地で激甚な災害が発生しましたが、その際にも、地元水防団（消防団）の方々が、昼夜を分かたず水防活動を実施され、被害の軽減にあたられたところです。



平成21年度 国土交通省における水防演習実施予定

地整名	演 習 名	実施日	実施場所
九州	川内川水防演習	5月10日(日)	川内川（左岸） 鹿児島県薩摩川内市西開聞町地先
関東	利根川水系連合水防演習	5月16日(土)	渡良瀬川（左岸） 栃木県佐野市船津川町地先
中部	庄内川・土岐川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練	5月17日(日)	庄内川（右岸） 愛知県名古屋市区山田町中小田井地先
中国	高津川水防演習・益田地区総合防災訓練	5月17日(日)	高津川（左岸） 島根県益田市高津地先
北陸	常願寺川・神通川連合水防演習	5月23日(土)	常願寺川（右岸） 富山県富山市水橋入江地先
近畿	淀川水防・大阪府地域防災総合演習	5月24日(日)	淀川（右岸） 大阪府摂津市一津屋地先
四国	物部川・仁淀川水防演習	5月24日(日)	物部川（右岸） 高知県南国市物部地先
東北	岩木川水防演習	5月30日(土)	岩木川（右岸） 青森県五所川原市錦町地先
北海道	鶴川・沙流川連合水防公開演習	6月20日(土)	鶴川（左岸） 北海道勇払郡むかわ町宮戸地先

国土交通省では、関係機関と協力し、国民全般に水防の重要性和水防に関する基本的考え方の普及を図り、水防に対する理解を深め、広く協力を求めることにより、水害の未然防止又は軽減に資することを目的として、水防月間を定めております。これは、昭和61年の台風10号による出水の際における懸命な水防活動により、水防活動が極めて重要であることが再認識されたことを契機として、昭和62年度より実施されているものです。

水防月間中においては、ポスター、パンフレット

等を活用して広報活動を積極的に展開するとともに、都道府県、水防管理団体（市町村等）と共に、出水を想定した水防演習や情報伝達演習の実施、水防資器材・河川管理施設等の点検・整備を行うほか、水防に関する展示会、講演会等の行事を全国各地において開催することとしております。

水防は皆様のご協力を得ることによって、その効果を最大限に発揮できるものであり、皆様の積極的な参加をお願いしますとともに、「水防月間」へのご理解とご協力をお願いいたします。

図書ご案内

平成20年5月発行

写真と映像で学べる DVD ビデオ付 『水防工法の基礎知識』

A 4 判 83頁 カラー印刷 頒価2,800円(消費税込み) 送料協会負担

突然洪水などが起きた時、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が被害を最小限に食い止めようとするのを水防活動といいます。状況に応じて、最適な水防工法を実施します。

本書では、水防に欠かせない『ロープワーク』『準備工』『水防工法』の基礎に加え、『水防技術の応用』や『くらしへの応用』など、一般・家庭にも役立つ技術を紹介しています。さらに、本書の内容をそのまま映像化したビデオ（DVD）も添付いたしました。水防工法の習得・研鑽に最適な教材と確信しております。

水防工法の基礎知識内容案内

ロープワーク

本結び（ほんむすび）
舟結び（ふなむすび）
“の”字結び（ののじむすび）
疣結び（いぼむすび）
髪括し（かみくくし）
鯛結び（いわしむすび）
舳い結び（もやいむすび）

準備工

土嚢作り（どのうづくり）
竹尖げ（たけとげ）
杭拵え（くいごしらえ）

水防工法

木流し工（竹流し工）
シート張り工
水防マット工
折り返し工
五徳縫い工（ごとくぬい工）
籠止め工（かごどめ工）
月の輪工
釜段工（かまだん工）
積土のう工（つみどのう工）
改良積土のう工

水防技術の応用

避難ロープ
救命、救助ロープ
簡易水防工法

くらしへの応用

荷づくり
古新聞の結束
家庭菜園での結び
垣根結び
レジャーテントの張り綱
野外テントの重し結び
物干し用張り綱
長尺物結び、バケツ吊り
トラック結び
舟、ボートの係留

〈資料〉

河川における防災用語
水防用語
水防工法一覧表

詳細については、(社)全国防災協会ホームページの出版図書案内をご参照下さい。

平成21年度災害復旧事業設計単価・歩掛 について

国土交通省河川局防災課基準第一係

災害復旧事業費の決定を申請しようとするときは、あらかじめ当該災害復旧事業の設計単価及び歩掛について主務大臣に協議し、その同意を得なければならない（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法施行令第六条第二項）。

これに基づき、今年度同意された平成21年度災害復旧事業設計単価・歩掛についての概要を以下に示す。

1. 平成21年度同意単価

(1) 労務単価

労務単価は、農林・運輸・建設の「三省協定」（昭和45年8月）に基づき、直轄工事・都道府県工事・市町村工事等の労務賃金の実態調査により定めた「公共工事設計労務単価」を災害査定用労務単価として運用している。災害査定用労務単価は、基本的に年度途中で見直しを行っていない。

主要職種における平成21年度の労務単価は表-1のとおり。

表-1 主要職種の労務単価（全国平均）

（単位：円）

職 種	平成20年度	平成21年度	対前年度比
普通作業員	12,800	12,800	1.00
特殊作業員	15,700	15,700	1.00
鉄筋工	15,800	15,800	1.00
運転手(特殊)	16,100	16,000	0.99
型わく工	16,200	16,000	0.99

(2) 資材単価

各都道府県毎に物価資材や市場調査等をもとに災害査定用資材単価を作成し、同意を得ることになっている。災害査定用資材単価は基本的に年度途中で見直しを行っていない。

平成21年度の主要資材の状況を見ると、昨年度、記録的な上昇のあった鋼材については、綱矢板で引

き続き高騰しているものの異形棒鋼については収束の方向にある。また、コンクリート製品等については、ほぼ横ばいで推移している。平成21年度の主要資材単価は表-2のとおり。

表-2 主要資材の単価（全国平均）

（単位：円）

資 材 名	単位	平成20年度	平成21年度	対前年度比
異形棒鋼	t	77,600	71,400	0.92
綱矢板	t	112,000	136,000	1.21
コンクリート積ブロック	m ³	4,310	4,480	1.04
生コンクリート(18N)	m ³	11,200	11,700	1.04
生コンクリート(21N)	m ³	11,600	12,100	1.04

2. 平成21年度災害査定用歩掛の主な改正点

災害査定用歩掛は、文字通り災害査定設計書を作成するための歩掛であるが、実施設計書との乖離が生じないようにとの配慮から、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠したものとなっている。土木工事標準歩掛は、施工形態の変動への対応及び歩掛の合理化・簡素化の観点からの歩掛の改正・制定が行われている。平成21年度の災害査定用歩掛の主な改正点は次のとおり。

〔主要な改正内容の概要〕

(1) 歩掛について

災害査定用設計歩掛が準拠している土木工事標準歩掛（国土交通省）において、平成21年度は「鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）」など11工種の全面改定が行われた他、12工種において一部改訂が行われた。

(2) 間接工事費について

共通仮設費、現場管理費の率分に大都市補正が追加された。

《各県コーナー》

平成20年災 仁淀川町道高瀬線道路災害 復旧事業について

.....高知県土木部防災砂防課

1. はじめに

仁淀川町は高知県の北部に位置し、愛媛県と隣接しており深緑の山間を清流・仁淀川が流れる豊かな自然の町です。また、伝統行事が数多く残る文化の町でもあり、文禄2年(1593年)の「神代神楽記」に記録が残され「土佐の三大神楽」にも数えられる池川神楽や火産霊命(ほぶすなのみこと)が祀られる秋葉神社の秋葉祭りなど、古くから伝わる行事が現在も受け継がれています。



2. 地質の概要

四国の地質は、東西方向に走る中央構造線、御荷鉾構造線、仏像構造線、安芸・中筋構造線などにより、帯状のいくつかの構造に分かれる。四国山地の北側を通る中央構造線を境に西日本内帯と外帯に分かれ、内帯は領家帯、外帯は北から三波川帯・秩父帯・四万十帯北帯・四万十帯南帯に区分される。被災箇所は仁淀川に建設された大渡ダム湖右岸側の斜面であり、露頭する基盤地質は表層に硬質なチャートが分布している。このチャートは西南日本の中・古生代の地層に含まれた砥石型

珪質粘土岩・チャート・珪質泥岩・砂岩泥岩層からなる特徴的な地層である。したがって岩質は硬質であるが著しくせん断された岩盤で、割れ目が発達し応力開放による緩みが発生しやすく、特に層状チャートにおいては多くの弱層部を有しているため、岩盤すべり等の要因となるとされている。

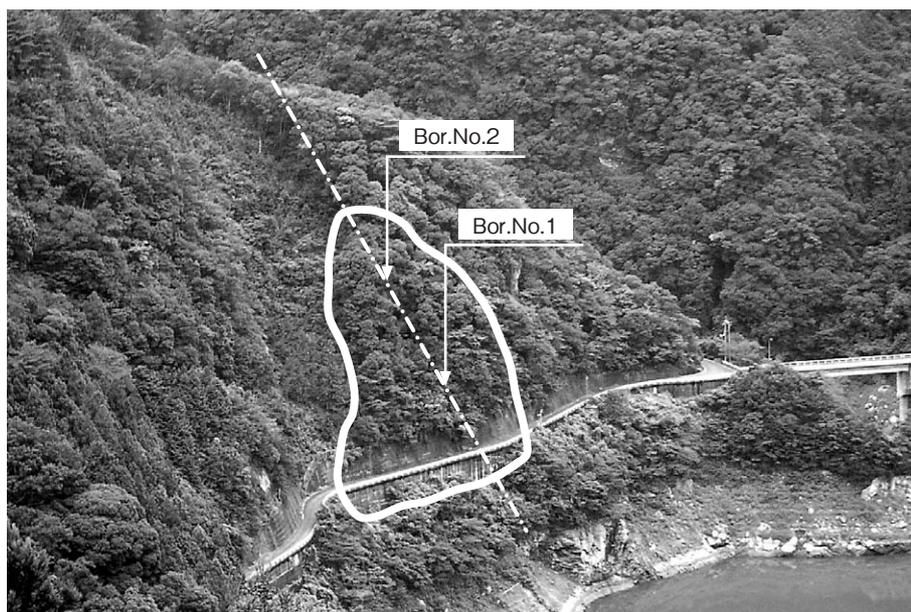
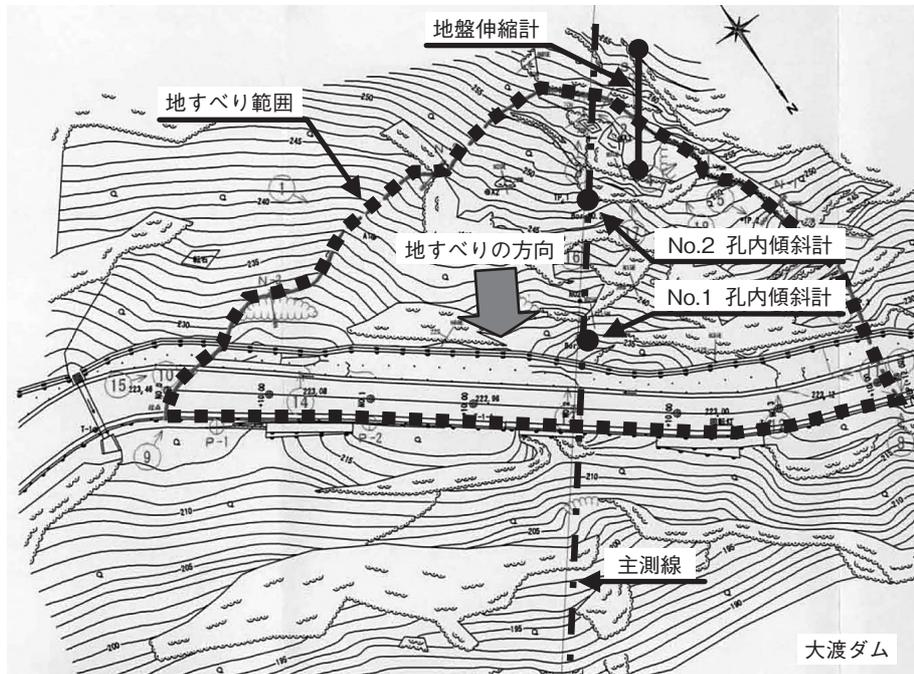
3. 被災状況及びメカニズム

道路舗装面の変状と山留擁壁に小規模なクラックが発生しており、地盤伸縮計と警報装置を設置し観測を開始した。その後、梅雨前線や台風の影響による豪雨により、変動が大きくなった。

地表踏査の結果、山留擁壁に発生したクラックは、起点側では右上から左下方向、終点側では左上から右下に向かっていている。特に起点側は、開口幅が約15cmと大きい。道路舗装面の沈下は全体的に緩やかな沈下傾向であり、横断クラックは起点側が大きい。路側擁壁は起点側に比較して終点側の目地部が約10cmと大きく開いているのが特徴である。斜面は、起点側の山留擁壁背後に約1.5m程度の開口亀裂が発生し、地すべり頭部では、段差亀裂や陥没等により凹型地形が形成され岩盤亀裂部には緩みが発生している。この凹型地形は岩盤クリープや断層などが形成原因と考えられる。岩盤クリープは岩盤の劣化や破壊を進めるだけでなく透水性が非常に良いことから、地下水や地表水が浸透しやすい地層の弱部を形成する。地すべりの形態は、岩盤クリープにより地すべりブロック上部の山自体の重さによる引張応力で発生した大きな変位が、末端部では徐々に減少し小さな変位となる前進型の地すべりと考えられる。

地すべりブロックは幅約72m、法長約50m、深さ約12mで形状としては船底型である。

《各県コーナー》



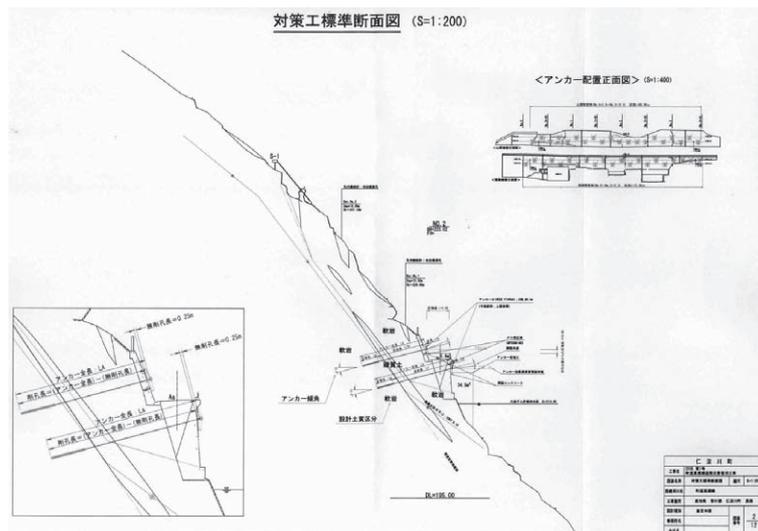
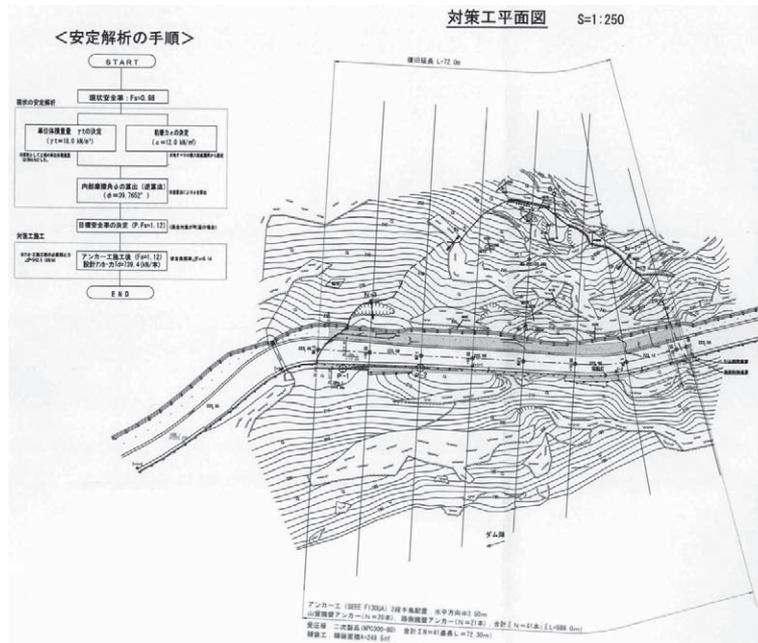
4. 復旧工法の査定決定

現況安全率は、観測結果や被災状況から $F_s = 0.98$ とし、計画安全率は、交通量が少ないことを考慮して $F_s = 1.12$ とした。復旧工法は、山留擁壁と路側擁壁に抑止工としてアンカー工を計画した。平成20年2月14日から15日の災害査定により、復旧延長 $L = 72\text{m}$ 、アンカー工 $\Sigma L = 586\text{m}$ で査定決定した。

5. 査定決定後の地すべりブロックの滑落

工事発注までの安全管理のため、地盤伸縮計の動きと連動した回転灯及び警報機を設置し、異常時には迅速に交通規制が行えるように観測を継続するとともに、頭部の滑落崖にはビニールシートにて雨水対策を実施していた。その後、2月から3月にかけて連続雨量が23mm、29mm、18mmとあり、平成20年3月14日に観測したところ、No.1 孔内傾

《各県コーナー》



査定決定平面図及び断面図

斜計累計移動量38.8mm、No.2 孔内傾斜計累計移動量41.3mmであった。平成20年3月17日、役場職員が地すべりの前兆現象と考えられる小規模な落石を発見し通行止めの規制をした。平成20年3月18日から3月20日にかけて74mmの降雨があり、同日21:00頃、道路面を含めた地すべりブロック全体が一瞬のうちにダム湖に滑落した。

6. 滑落後の状況

地すべりブロックの滑落した後の状況は、平滑でなく全体的に細かい凸凹の多い形状の岩盤が露出している。すべり面の起終点では鉛直深さ8~10m程度まで岩盤の亀裂が発達し、斜面が緩んだ状態にある。また、落ち残りの岩塊が残存し、山留擁壁の背面は盛土部にも亀裂や段差が生じてお

《各県コーナー》

7. 地形の変動による復旧工法の変更

表1-2 形式比較一覧表 (線形変更)

	① 補強土擁壁		② コンクリート擁壁		③ 橋梁	
	第1案 テールアルメ工法		第2案 逆T式擁壁		第3案 メタルロード工法	
概要図						
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・帯状補強材の摩擦抵抗による引抜き抵抗力で土留め効果を発揮させる擁壁である。 ・基礎部はコンクリートによる置換えである。 		<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な逆T式擁壁である。底版及び壁は鉄筋構造である。 ・基礎部はコンクリートによる置換えである。 		<ul style="list-style-type: none"> ・H形鋼で構成される上部工(主桁、横桁、格点部)と鋼管杭基礎を剛結により一体化した構造の上にRC床版を備えた立体ラーメンプレハブ構造である。 	
構 造 性	<ul style="list-style-type: none"> ・構造物の機能を確認するためには、補強材の物理的、化学的安定性といった長期的な耐久性を保持する必要がある。 ・地震反力度は小さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・逆T式擁壁は剛な構造物であり、単独で自立するため安全性は高い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・杭と桁が道路方向及び道路直角方向とも剛結された立体ラーメン構造であり、荷重や地震時荷重に対して優れた耐荷力を有している。 	
施 工 性	<ul style="list-style-type: none"> ・補強効果が効果的に発揮されるために補強材と盛土材との適合性に留意が必要である。 ・壁面材の設置にはクレーンが必要となるとともに、斜面下方の岩盤を掘削を伴う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大型の重機を必要としないため、施工時における安全性は高い。 ・鉄筋・型枠の組立て、それに伴う足場の設置・撤去が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・50t吊クローラクレーンにより杭及び上部工の施工を行う。 ・手延べ式施工を行うため、進入路が不要である。 	
概算工事費	本体工	315 (千円/m)	本体工	283 (千円/m)	本体工	1,307 (千円/m)
	基礎工	330 (千円/m)	基礎工	378 (千円/m)	基礎工	418 (千円/m)
	土工	225 (千円/m)	土工	177 (千円/m)	橋面工	300 (千円/m)
	法面工	582 (千円/m)	法面工	582 (千円/m)	合 計	2,025 (千円/m)
	合 計	1,452 (千円/m)	合 計	1,420 (千円/m)		
評 価	経済性は第2位である。		経済性で最も優れる。		経済性で最も劣る。	
判 定	2		1		3	

前述のとおり、地すべりブロック及び地すべり面が当初想定していた範囲と一致していることから、新たな災害の発生とは認められない。このため、復旧工法については設計変更協議により工法変更した。

平面線形については原形復旧を基本とするが、被災状況を踏まえて経済性や施工性、ダム湖への影響等を考慮し山側に寄せた線形とした。路側擁壁の構造形式は置換えコンクリートを含めた全高が8m程度となることから補強土壁工、逆T擁壁工、橋梁形式の3案で検討した結果、施工性に優れ経済的でもある、逆T擁壁に決定した。

のり面の復旧は、地山が急峻でこれ以上の掘削が困難なことからモルタル吹付け工により復旧することとした。

8. おわりに

災害査定後に地すべり現象による滑落が起きるという非常に稀な状況となった。まさか地すべりブロック全体が滑落してしまうとは、思いもよらなかったというのが本音です。査定後からの維持管理は地すべり頭部や起点側山側の開口部亀裂への雨水流入防止対策としてビニールシートを設置し、調査開始から交通の安全確保のため、地盤伸縮計と運動した警報機、孔内傾斜計の継続観測を行っていた。このように、細心の注意を払いながら管理を行っていたことが、地すべりの前兆現象を発見し速やかに通行規制を行い、人的被害を未然に防止することができた大きな要因となった。今回の被災は、町の担当者のみならず重変の協議を行った県の職員にとっても、被災後の現場管理がいかに重要かを理解するうえで貴重な経験となりました。

査定官メッセージ

「査定生活2年目突入」

国土交通省河川局防災課
災害査定官

関 新 次

平成20年4月、本省河川局防災課災害査定官へ。日本の北から南、山川海へとリュックを背負ってエッチラオッチラ、早1年が過ぎました。この間、都道府県、市町村、財務局の担当者、関係者の皆様には大変お世話になり、この場をお借りしてお礼申し上げます。

○古里は遠くにありて思うもの

査定時は、長くて1週間、各地を転々としながら仕事の合間に地域の景色や風情、味覚を楽しみます。世間話の中で「出身はどちら？」を皮切りに「北海道ですか。イイデスネ〜。」と言われます。「イヤ〜、そうでもないですよ。」とは言ってみるものの、サテ、自分の古里北海道の良いところって何だろう。真っ直ぐ広い道路かな？→びゅんびゅんスピードを出す車が多いのが怖いんだよ。広大な風景？→移動時間がかかるので大変！。ジギスカンに三大カニの食い放題かな？→私も食べたことがないけど。雪景色は最高か？→雪かきは体が痛くなるし鼻水ズルズル。〜でも住み慣れた町や風景、風習が一番なのかな、と改めて自分の古里を見つめ直すことショッチュウ。

査定で各地を回ると、町並みなどに歴史や風格を感じます。また、珍しい食べ物、秋から冬は暖かく冬は遅くまで明るいので、ブラブラ散歩をしたり、ゆっくりしたいと思うことしばしば。パンフレットで地域の名所や物産など一通り机上査定をするものの、じっくりと「朱」を入れる時間も無く、悲しいかな、お目にかかるのはほとんど皆無。

さてクイズです。

各地の地名、食べ物、方言です。間違いや有名で

ないものもあるかもしれませんが…。

アタマリヨウリ、ヘギソバ、ヤタガラス、トンテキ、ハンザキ、ウガミショラ〜、メハリズシ、イタソバ、ケイビケイ、ケイゾクダンゴ、オクノコドウ、ノドグロ、クロゲンゲ、ユウレイデラ、ケイハン、イモ〜レ、ゲンビケイ、ジャジャメン、タノンコッチャ、などなど、パンフはたまる一方で、老後の楽しみが増すばかり！

○花の東京

さて、右も左もわからない田舎者の私が、花の都東京で生活をしています。いまだ慣れないのが朝のラッシュ。いったいどこから人が湧いてくるのか？ギューギューそんなに押さなくてもいいのに！次の電車が待てないの？息が出来ない、肉がはみ出でる！満員電車に乗り込んで顔を上げると、すぐ目の前には薄眼を閉じて顔が上向き「いつでもキスOK」てな感じの…オッチャン（恍惚ポーズで電車に乗らない方がいいんじゃない…）。

土日に掃除洗濯を終えた後は、近くのスーパーに買い出しに。豆腐1丁100円。さすが物価は高いナアと、ブツブツつぶやきながら歩いていると、突然、後ろからチャリンチャリンとけたたましいベルの音。振り向けば、ママチャリ奥様が、前と後ろにメット着用ご子息ご子女を乗せてすごい勢いで迫り来る。思わずたじろぎ横に退避。風のように走り抜ける後ろ姿が印象的。何をそんなに急ぐのか、慣性の法則なのか、スピードを出さないとコケルのか、止まるときのテクニックを見たいもんだ。そんなこんなで、宿舎を中心に少しずつ行動範囲を拡大し、都会の風情を楽しんでいます。

○自然の脅威

平成20年災は、日本海の2月冬季風浪に始まり、6月には衝撃的な岩手・宮城内陸地震、夏から秋は降雨記録を更新する短時間豪雨やスポット的豪雨など。例年であれば、台風が日本列島を縦断し各地に被害を及ぼすのですが、台風が上陸しなかったのが幸い？

そのような中、各地の被災現場を見させて頂いています。岩手・宮城内陸地震では、山が1つ消える？滑る！山が裂ける、100tを超す岩塊が道路を覆う、沢を埋めつくす、それがほんの一瞬に起こっているということ。また、三重の山奥では、数メートルの花崗岩系の河床材料？がゴロゴロし、洪水の流下と共に水の中で火花を散らせて夜通し明るく、きな臭い火花のにおいが沢中に溢れていたとの話。自然のエネルギーの強大さを感じ知らされます。

○マネジメントは

「2カ月査定」が定着化しつつあります。しかし、災害時に都道府県・市町村の最前線では、情報収集、住民避難、現地パトロールや地元対応、現地対策など。そのような非常に急がしい中、申請のための現地確認や書類作成などの作業を行うこととなります。

近頃、現地測量や工法検討などは外部委託がほとんどでしょうか。例えば、その結果を待って打合せのではなく、最初の段階で担当者ともども現地に行き、起終点や構造断面の考え方、比較検討の内容などについて具体的に打合せてはどうでしょうか。また、災害に熟知した上司が、原形復旧という負担法の原則に則っているのか、最初の段階でチェックをすることも重要です。

2カ月という短い期間の中で作業を纏めていくには、上司、担当者、業者が連携し、いつまでに誰が何をするかなどの責任分担とチェック機能を働かせる必要があります。その基本的な流れを秘伝書として纏めれば、次回は、よりスムーズに、よりスピードアップするでしょう。

災害査定は一連の流れの一部であり、最終目的は、早急に従前の施設機能を復旧し、地域住民の安全安心を確保するものです。

○元気が一番

査定時は、若い方々から説明を受けます。「私たちはそれほど若くないのですが、一番下っ端です。新しい人が入らないので…」と嘆きの声。予算も人員も厳しい今の時代、新人が入ることはほとんど無いでしょう。

しかし、このような人員削減や組織統廃合という厳しい今の時代、この中堅処のイキの良い若手職員が、平日頃の業務の中で、仕事のやり方をより一層わかりやすく機能的にする工夫を考えては。若手職員は、近い将来の組織の中核となる方ばかりです。その時に入ってくる新人の方々の力を最大限引き出すためにも、今から工夫が必要です。

その1つとして、あるいは技術力向上を図る上でも、査定時には若い方々？がドンドン前に出て下さい。「原形は…で、被災メカニズムは…で、起終点は…から決め、申請構造を決めた根拠は…で」。元気な声で堂々とした説明を期待しています。

査定生活2年目に突入いたしました。今年も各地をお伺いし、皆様のお世話になると思います。今後も、よろしくお願い致します。

最後に、皆様の心と体の健康、
適正な維持管理のために

～適正飲酒10か条～

- 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- つくろうよ 週に二日は休肝日
- やめようよ きりなく長い飲み続け
- 許さない 他人への無理強い・イッキ飲み
- アルコール 薬と一緒に危険です
- 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 肝臓など 定期検査を忘れずに

出典：(社)アルコール健康医学協会

新任査定官プロフィール



氏名 上原 信司
 出生地 新潟県
 家族 6人
 趣味 ジョギング
 そば打ち

主な経歴
 昭50. 建設省採用
 平15. 北陸地方整備局河川部建設専門官
 平17. 北陸地方整備局千曲川河川事務所副所長
 平20. 北陸地方整備局企画部工事品質調整官
 平21. 河川局防災課災害査定官

災害の無い安全安心な国土を願いつつ、災害復旧では早期の復旧に向け、地域の皆様のお役に立てればと思っております。よろしくお願い致します。



氏名 戸倉 健司
 出生地 千葉県
 家族 5人
 趣味 海つり

主な経歴
 昭54. 建設省採用
 平17. 関東地方整備局宇都宮国道事務所副所長
 平19. 関東地方整備局企画部防災対策官
 平20. 関東地方整備局企画部防災課長
 平21. 河川局防災課災害査定官

公共土木施設の出来るだけ早い機能回復のために役割りを果たしたいと思います。よろしくお願い致します。



氏名 松本比呂志
 出生地 静岡県
 家族 6人
 趣味 ラジオ英会話学習

主な経歴
 昭53. 静岡県庁採用
 平16. 静岡県建設部砂防室主幹
 平20. 静岡県袋井土木事務所企画検査課長
 平20. 静岡県建設部土木防災室技監
 平21. 河川局防災課災害査定官

災害復旧制度の規律を守り、安全安心な地域づくりの一助となれるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



氏名 兒島 優一
 出生地 鹿児島県
 家族 6人
 趣味 スポーツ観戦
 DIY

主な経歴
 昭59. 鹿児島県採用
 平17. 鹿児島県土木部道路建設課技術主幹兼計画調整係長
 平19. 鹿児島県土木部河川課技術主幹兼開発係長
 平21. 河川局防災課災害査定官

災害査定を通して、安全で安心な地域づくりの一役を担えればと考えております。よろしくお願い致します。

新任査定官プロフィール



氏 名 吉田 桂治
 出生地 岩手県
 家 族 1人
 趣 味 山登り、旅行

主な経歴
 平9. 建設省採用
 平15. 東北地方整備局岩手河川国道事務所調査第一課長
 平17. 九州地方整備局河川部建設専門官
 平19. 新潟県土木部砂防課副参事（土砂災害防止推進担当）
 平21. 河川局防災課災害査定官

地域の皆様が安全・安心に暮らせるよう、研鑽を積んでいきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

新刊ご案内

あなたはお持ちですか!!

災害査定上手放せない本書をぜひお手元に一冊!!

平成21年版

『災害査定の手引き』 旧「災害査定研修テキスト」

A 5 版145頁 カラー印刷 頒価3,100円(税込み) 送料協会負担

本書は、災害復旧事業の円滑・適正な実施のため、災害査定業務に係る基本的な事項を図面、写真、査定設計書、ポンチ絵等を簡潔に分り易くとりまとめたもので、災害復旧事業に関する研修、講習会のテキスト等として幅広く活用されるものと確信いたしております。

※なお本書は昨年度まで「災害査定研修テキスト」として出版されていた図書です。

『災害査定の手引き』【目次】

1. 災害発生から工事完結まで
 - ・災害復旧事業関係法令（目的と定義等）
 - ・災害発生から工事完結まで（フロー及び用語の説明）
 2. 災害復旧事業の採択要件及び範囲
 - ・採択要件の基本
 - ・災害の要件（異常天然現象の基準）
 - ・災害復旧事業の対象（公共土木施設）
 - ・適用除外（法第6条）
 - ・災害復旧事業の範囲
 - ・応急工事
 3. 査定設計書の作成
 - ・積み上げによる積算
 - ・総合単価による積算
 4. 査定業務
 - ・査定業務の流れ
 - ・現地査定
 - ・机上査定
 - ・決定金額等
 - ・再調査
 - ・査定現場における技術的留意事項
 - ・河川環境の保全に配慮した復旧工法
 5. 橋梁災害等
 - ・橋梁災の採択
 6. 改良復旧事業
 - ・改良復旧事業の枠組
 - ・一定災と災害関連事業
 7. 災害復旧事例
 8. 財務省立会制度
 - ・立会制度について
 - ・財務検査要綱
 - ・検査官と立会官
 9. 災害査定のがまえ
 - ・査定時における検査官の心得
 - ・立会官との関係
 - ・現場申請主義
 - ・採択率
 - ・査定官回し
 - ・随行員の役割
- 参考資料—
- ・災害復旧事業採択ルール
 - ・災害査定官・検査官の職務
 - ・よくある議論から
 - ・災害復旧事業関係法令
 - ・用語の解説
 - ・参考図書

会員だより

「岩手・宮城内陸地震の復旧に向けて」



宮城県北部土木事務所栗原地域事務所
道路建設第一班 主任主査
菅原 幸也

1. はじめに

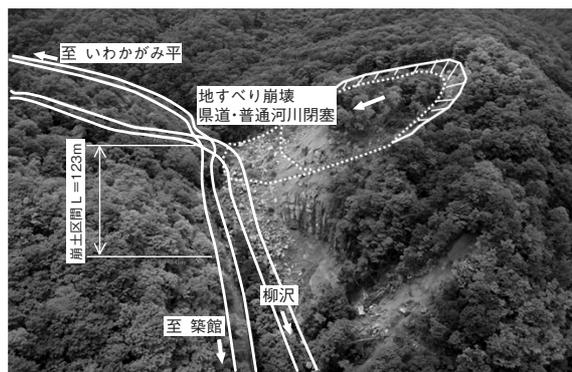
平成20年6月14日午前8時43分頃、岩手・宮城・秋田県境付近を震源とするM7.2の「岩手・宮城内陸地震」が発生し、震源地に近い宮城県栗原市では震度6強の地震動に見舞われました。この地震による宮城県内の被害は下記のとおりで甚大な被害となりました。

【宮城県内の被害概要（H21.3.27現在）】

- 人的被害：死亡者数 10人、行方不明者数 8人
負傷者数 365人
- 住家被害：全壊 28棟、半壊 141棟
一部損壊 1,733棟
- 公共施設被害：土木施設被害 408億円余
農林水産関係被害 595億円余
中心に全体で 1,094億円余

当時私は、県沿岸部の東部土木事務所に勤務しておりましたが、幸い管内での被災はありませんでした。今回の地震被災は、県内でも栗原地域に

【主な被災箇所の状況】



会員だより



集中しており、その対応として北部土木事務所栗原地域事務所内に「災害復旧特別チーム（13名）」が編成されることとなり、私もその一員として7月から2カ月間の兼務期間を経て、9月から正式に異動辞令を受けて災害復旧に当たっております。

2. 災害復旧の対応

今回我々のチームが主に担当したのは、主要地方道築館栗駒公園線の道路災害復旧の対応でした。この路線は、栗原市中心部の築館を起点とし、途中、行者滝や駒の湯温泉、オートキャンプ場、いこいの村などの観光施設を經由し栗駒山中腹の観光名所いわかがみ平に至る県北の代表的な観光路線であるとともに、耕英地区住民の重要な生活路線であります。

今回の地震により、行者滝～いわかがみ平の間は数カ所で大規模な土砂崩落が発生するなど甚大な被害を受け、早期の復旧が困難な見通しであったため、次の2点について対応が必要となりました。

① 車両通行不可による耕英地区の孤立の解消

(41世帯、100人)

② いわかがみ平駐車場などに取り残された観光バスを含む22台の車両救出

①については、早期復旧が困難な県道の代替路として、市道馬場駒の湯線を工事用道路とする応急工事に着手、応急復旧ルートが7月31日に完成し、緊急車両や工事関係車両の通行が可能となり、ライフラインなどの本格的な復旧が始まりました。但し、この応急復旧ルートは、一部が荒砥沢ダム上流の大規模地すべりの想定すべり線の中に入っているため、より安全でかつ冬期間も通行可



12月24日 開通状況

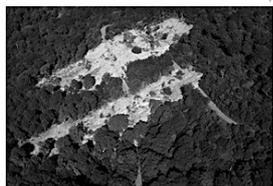
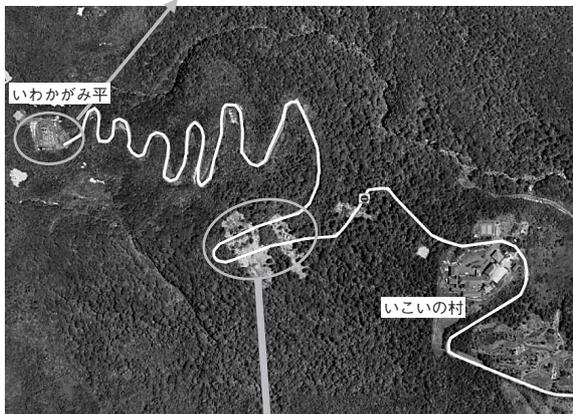
会員だより

能なルートとして別途（応急復旧ルートを迂回する）本復旧ルートを選定し、栗原市の代行事業として県が工事に着手、12月24日に開通しました。これらにより、実質的に耕英地区の孤立が解消され、避難指示地区内への一時帰宅の回数も増え、家屋の越冬準備等、民生の安定に大きく貢献することができました。

②については、当該県道がいわかがみ平駐車場に通じる唯一の路線であることから、応急本工事で災害査定前に復旧工事に着手しました。いわかがみ平の土砂崩落は5箇所ありましたが、内4箇所は幸い崩土撤去のみで復旧できましたが、残る1箇所は道路そのものが崩落しており、一部山側に道路法線を振る計画としました。当該地区は、



JAFの協力による取り残された車両の整備作業



被災直後のいわかがみ平 被災箇所



12月4日撮影の同箇所の状況



道路の崩落箇所



暫定断面での仮復旧状況



11月8日の車両移動状況

例年11月中旬には積雪による通行止めとなることから、短期間で復旧する必要がある、道路崩落箇所は車両通行可能幅員のみを確保する暫定断面で工事を進め、11月8日に無事全車両を移動することができました。なお、車両の移動に際しては、(社)日本自動車連盟(JAF)より車両整備やレッカー車移動などの無償協力をいただき大変助かりました。

3. 災害復旧にあたって感じたこと

- 今回の災害では、各地で大規模な土砂崩落が発生し車両通行ができず徒歩による確認調査を余儀なくされ、初動期の被災状況の把握が困難な状況で、ヘリによる上空からの調査は大変有効でした。地上と上空の両方から調査により、効率的な被災状況の把握ができたと思います。
- 初動期の災害調査にあたっては、地理的な土地勘のある職員、地域の地形・土地形状に精通した職員の配置が不可欠であり、今回編成された災害復旧特別チームにおいても、当事務所勤務経験者が多く配置され効率的な調査活動ができたと思います。
- 復旧範囲・工法を決定する際の考え方の統一を図ることが重要で、復旧マニュアルの整備はもちろんのこと、特に舗装路面災などは、各担当により起終点の決定根拠にばらつきがあったことから、舗装クラックの幅と深さの相関整理やコア抜きによる亀裂確認などにより、復旧範囲の決定根拠を統一する必要があると感じました。
- 今回の被災箇所はその殆どが山間部で、保安林や栗駒国定公園内の工事であり、早期復旧には

会員だより

許認可を有する関係機関との協議調整を早めに行うことが重要であると感じました。

- 豪雪地域内の被災ということで、積雪時期までに応急道路を開通させる必要があり、優先順位を決めていつまでに何をしなければならいかといった、タイムスケジュール（目標）を設定して全体の工程管理を行うことが重要であると感じました。
- 被害の状況や復旧工事の進捗状況をお知らせする「災害復旧だより」を、避難地域の住民に直接配布するとともに、県のホームページに掲載し定期的に更新するなどの、積極的な情報発信が有効であると感じました。

4. おわりに

先ずは、今回の地震で犠牲になられた方や負傷

され方、家屋などに被害を受けた方に哀悼とお見舞いを申し上げます。

今回、地震災害の復旧という地元住民から最も期待され望まれる事業の一翼を担えたことは、土木技術職員としては誇りであり、感謝しているところです。これからが、本格的な復旧工事の稼働となるわけですが、「がんばろう栗原」の合言葉のもと、一日も早い復旧が果たせるよう全力で挑みたいと思います。

最後に、今回の災害復旧に関して、御協力、御指導をいただいた国及び栗原市をはじめとする関係機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、近い将来高い確率で発生が予想される宮城県沖地震の際に、今回の貴重な経験をフルに活かし適切に対応できるよう、日頃から意識して職務を遂行したいと思います。

築館栗駒公園線災害復旧だより

～栗原市道「馬場駒の湯線」の本復旧道路が開通しました～

平成20年12月26日発行（第10号）

宮城県では、平成20年6月14日に発生した「平成20年宮中・宮城内陸地震」により被災を受けた築館栗駒公園線及び栗原市の迂回路となる栗原市道馬場駒の湯線等について、6月20日から応急復旧工事を実施しています。

■ 工事の状況、完了の概況

- 市道「馬場駒の湯線」橋梁地区では、これまで進行していた仮設道路の立直し、より安全で長期も通行可能な本復旧道路の完成し、12月24日（水）から許可車両の通行が可能となりました。
- 現在、いわがみ平橋下及び新築十字路～行倉間の仮設道路については、降雪のため作業を休止しています。
- 今後も、一日も早い全線復旧を目指して、工事を進めています。

いわがみ平

12月24日 馬場駒の湯線・本復旧道路開通
12月24日、これまで通行していた仮設道路の立直し、結果的に100%の本復旧道路が開通しました。
本復旧道路は、仮設道路に比べ、幅員が狭くかつ道幅が狭いことから、より安全に通行していただくことが可能です。

12月24日復旧後

12月24日復旧前

栗原市と宮城県が協力して除雪作業を行い、被災地区の方が安全に行き来できるよう万全を尽くしています。

道路復旧に関するお問い合わせ

県道 宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 電話 0228-22-2111（栗原合同庁舎代表）

市道 栗原市災害対策本部 電話 0228-22-1122（市役所代表）

※市道「馬場駒の湯線」の通行に関する問い合わせは被災対策本部と対応しています。

協会だより

「水防専門家派遣制度」の活用について

～水防活動の支援の充実～

従前より水災防止を図るため、治水事業と水防活動が「車の両輪」として重要な役割を担ってきました。しかし、水防活動の核となる水防団等においては、団員数の減少や社会全体と同様に進む高齢化、サラリーマン団員の増加による平日の参集人員の不足等により十分な活動ができない状況が生じるなど、地域自らが行うことを原則としてきた水防活動の基盤や環境の整備に関わる課題が指摘されており、特に水防技術に関しては、指導者の不足、実践経験の不足等により、水防知識・技能の伝承・習得が困難な状況となっています。

一方、近年の梅雨前線や台風による豪雨災害にも見られるように、これまでの記録を超える降雨量等が各地で観測されており、自然の外力は施設能力を超える可能性が常にあることを踏まえた備えが必要となっています。即ち、災害が発生した場合でも被害を最小化する「減災」を図ることが今後の災害対策の基本的命題となっています。

これを実現するためには、地域防災力の再構築が重要であり、特に水害においては水防活動の重要性がますます高まっており、更なる水災防止力の強化を図るためには、水防活動の技術向上等を図っていくことが必要不可欠と考えられます。

このような状況を踏まえ、社団法人全国防災協会では、水防団等の知識・技能の向上を支援するため、水防専門家を人材登録し、水防管理団体等の要請に応じて水防訓練・講習会に派遣し、出前講座等を行う『水防専門家派遣制度』を平成19年2月に創設しました。

■水防専門家とは

水防団、消防団、国土交通省のOBを中心として、水防関係業務に携わった経験を有し、水防知識・技能の伝承・指導を行うことが可能な方です。

■水防専門家の活動内容

水防専門家は出前講座で以下の指導

を行います。

- ①水防訓練における水防工法の指導
- ②水防に関する講習 等

■任期

水防専門家の任期は3年です。事務局は3年ごとに登録の更新を行います。

■派遣費用

水防専門家派遣に要する費用（交通費、宿泊費、日当）は、原則として要請した市町村等において負担して頂きます。

■水防専門家登録者数

平成21年4月1日現在、水防専門家登録者数は113名です（別紙水防専門家登録者一覧参照）。

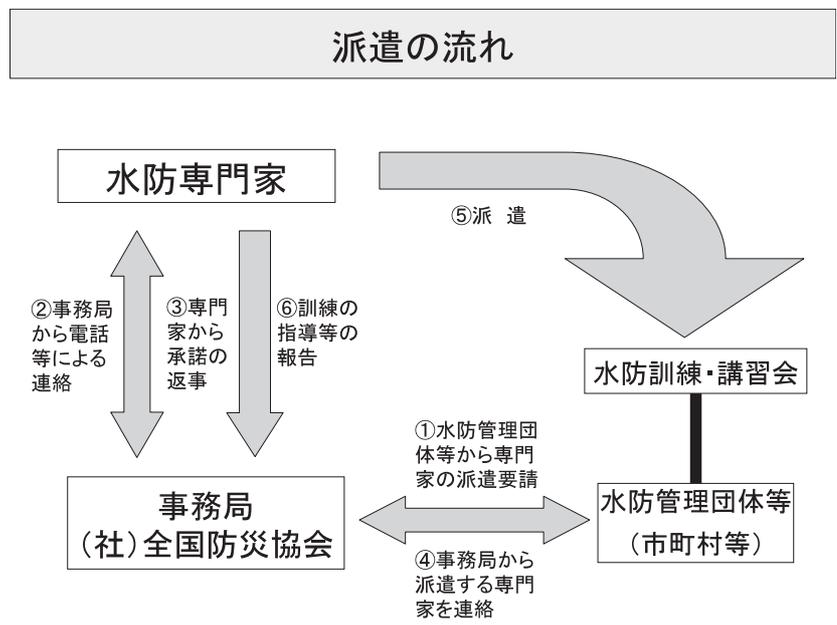
■派遣実績

平成19年度の派遣実績は14機関、延べ28名でした。平成20年度は平成21年3月31日現在27機関から延べ60名の派遣要請がありました。

■その他

本制度の概要等については、全国防災協会のホームページにも掲載しておりますので是非ご参照下さい。

<http://www.zenkokubousai.or.jp/>



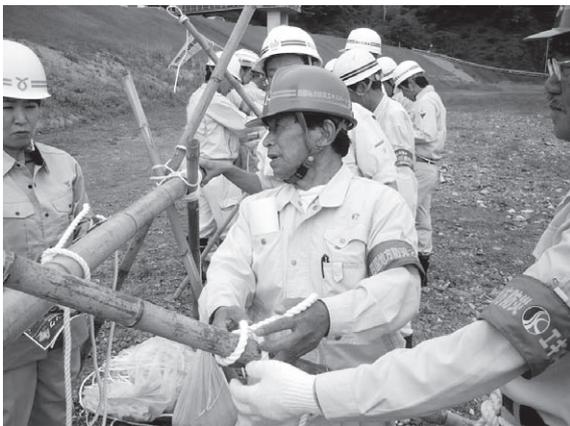
平成21年度 水防専門家派遣実績 (予定) 一覧表

(平成21年 4月23日現在)

No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名	備 考
1	四国地方整備局高知河川国道事務所	水防工法講習会	高知県南国市 (物部川右岸河川敷)	21. 4 .18	4 名	山本邦一、山崎宏教 立石耕一、前中良啓	派 遣 済
2		水防工法講習会	高知県高知市 (仁淀川左岸河川敷)	21. 4 .19	4 名	山本邦一、岡崎健一郎 森岡正男、小松 隆	派 遣 済
3	徳島大学工学部	水防工法に関する講演	徳島県徳島市 (徳島大学工学部)	21. 4 .22	1 名	山本邦一	派 遣 済
4	北陸地方整備局高田河川国道事務所 (関川・姫川水防連絡会)	水防技術講習会	新潟県上越市 (保倉川右岸堤防上)	21. 5 .17	2 名	水澤清春、植木英仁	派遣予定
5	関東地方整備局甲府河川国道事務所 (富士川水防連絡会)	富士川水防訓練	山梨県南巨摩郡南部町 (富士川右岸河川敷)	21. 5 .23	6 名	中村信明、芦沢義仁 河野俊彦、有泉和人 天野久一、佐々木秀樹	派遣予定
6	埼玉県神流川町 (神流川水害予防組合)	水防技術研修	埼玉県児玉郡神流町 (神川 B & G 海洋センター)	21. 6 .28	1 名	茂木 弘	派遣予定

要請機関：5 機関

派遣者数：18名



ロープワーク



土のう積みの手順と杭の打ち方



積土のう工



締め固め

平成20年度 水防専門家派遣実績一覧表

(平成21年3月31日現在)

No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名
1	中国地方整備局河川管理課	水防技術講習会	鳥取県米子市(日野川右岸河川敷)	20.4.24	2名	竹下 一郎、江角 俊明
2	印旛利根川水防事務組合	利根川水系連合水防演習	千葉県印旛郡栄町(利根川右岸河川敷)	20.5.17	2名	鈴木 薫、杉田 昭一
3	中国地方整備局河川管理課	日野川水防演習	鳥取県米子市(日野川右岸河川敷)	20.5.18	7名	原 洋信、永田 瑞穂、米田 明德、竹下 洲夫、菅原 江角、福田 俊明
4	兵庫県県土整備部河川整備課	水防技術講習会	兵庫県三木市(県立広域防災センター)	20.5.23	1名	福井 保
5	富士川水防連絡会	富士川水防訓練	山梨県南アルプス市(釜無川右岸河川敷)	20.5.24	4名	中村 信明、菅沢 義仁、河野 俊彦、有泉 和人
6	滋賀県土木交通部河港課	水防研修会	滋賀県守山市(ラフォーレ琵琶湖)	20.5.30	1名	裕永 正光
7	手取川・梯川連合水防演習運営委員会	手取川・梯川連合水防演習	石川県能美郡川北町(手取川右岸河川敷)	20.5.31	1名	本田 武
8	中国地方整備局出雲河川事務所	揖斐川水防演習	島根県出雲市(斐伊川左岸河川敷)	20.5.31	1名	竹下 一郎
9	最上川上流洪水予報・水防連絡会	北上川上流水防演習	岩手県花巻市(北上川右岸河川敷)	20.5.31	2名	鈴木 好彦、佐藤 務
10	福井県防災協会	水防に関する研修会	福井県福井市(福井市防災ステーション)	20.6.3	1名	桜井 庄二
11	秋田市	水防訓練	秋田県秋田市(雄物川右岸河川敷)	20.6.8	1名	浦部 康悦
12	関東地方整備局河川管理課	水防技術講習会	栃木県佐野市	20.6.21	1名	鈴木 薫
13	四国地方整備局四国山地砂防事務所	土砂災害対応防災訓練	徳島県三好市	20.6.22	4名	三橋 守、高崎 信三、武市 寛、山本 邦一
14	北海道胆振東部消防組合穂別支署	水防訓練	北海道勇払郡むかわ町(鶴川水系穂別左岸)	20.6.29	2名	出蔵 諭、星 喜友
15	四国地方整備局高知河川国道事務所	水防講習会	高知県高知市	20.7.3	7名	山本 邦一、古屋 賢二、森岡 正男、岡崎 健一郎、前中 良啓、文野 博隆、山崎 宏教
16	岩手県久慈地方振興局	水防訓練	岩手県久慈市	20.7.13	1名	井上 博泰
17	坂東上流水害予防組合	水防技術講習会	埼玉県本庄市(山王堂グラウンド)	20.7.26	1名	茂木 弘
18	水防協力団体(栲近藤組)	水防講習会	徳島県阿波市	20.8.6	3名	武市 寛、山本 邦一、高崎 信三
19	関川・姫川水防連絡会	水防技術講習会	上越市佐内町地先	20.8.24	2名	水澤 清春、植木 英仁
20	鳥取県若桜町	水防講習会	鳥取県若桜町	20.8.31	3名	永田 瑞穂、米田 明德、福田 洲夫
21	北海道沙流郡日高町	沙流川水防技術講習会	沙流郡日高町(沙流川左岸)	20.8.31	2名	出蔵 諭、星 喜友
22	近畿地方整備局大和川河川事務所	水防技術講習会	奈良県大和郡山市	20.9.9~10	2名	裕永 正光、福井 保
23	近畿地方整備局福井河川国道事務所	防災フォーラム	福井県福井市和田東(福井市防災センター)	20.10.2	1名	南 哲夫
24	近畿地方整備局豊岡河川国道事務所	水防工法講習会	兵庫県豊岡市西芝地先(円山川防災センター)	20.10.20~21	2名	裕永 正光、福井 保
25	徳島県名東郡佐那河内村	村総合防災訓練	徳島県名東郡佐那河内村(佐那河内小学校)	20.11.2	1名	山本 邦一
26	水防協力団体(南建設株)	防災訓練	徳島県美馬郡つるぎ町	20.11.7	1名	山本 邦一
27	現場技術土木施工管理技士会 大阪	泉南地区防災講習会	大阪府泉南市りんくう	20.11.17	1名	山本 邦一
28	四国地方整備局徳島河川国道事務所	板野町町民防災訓練	徳島県板野郡板野町(町民スポーツガーデン)	20.11.30	3名	武市 寛、山本 邦一、高崎 信三

要請機関：27機関(中国地整：2回)

派遣者数：60名

水防専門家登録者名簿

113名 (平成21年 4 月 1 日現在)

ブロック	No.	氏 名	ふりがな	得意分野	活動希望地域
北海道	1	星 喜友	ほし よしとも	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	北海道内
	2	出蔵 諭	でくら さとし	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	北海道内
東 北	1	早坂 正雄	はやさか まさお	実地指導・水防工法	東北管内 (主に山形県内)
	2	佐々木 護	ささき まもる	実地指導・水防工法・急流河川	秋田県 (本荘・由利地域)
	3	浦部 康悦	うらべ こうえつ	実地指導・水防工法	秋田県内
	4	齋藤 義美	さいとう よしみ	水防工法	青森県 (中弘前区内)
	5	加賀谷 富二	かがや とみじ	実地指導・水防工法	秋田県 (中央・県南地区)
	6	山崎 道男	やまざき みちお	実地指導・水防工法	秋田県 (県南地区)
	7	井上 博泰	いのうえ ひろやす	実地指導・水防工法・水防体制	岩手県内
	8	小沢 秀啓	おざわ ひでひろ	水防工法・水防体制・急流河川	岩手県 (県南部地方)
	9	幸谷 摩文	こうたに たかふみ	実地指導・水防工法・低地河川	岩手県 (内陸部県央～県南)
	10	鈴木 好彦	すずき よしひこ	実地指導・水防工法・急流河川	山形県内
	11	佐藤 努	さとう つとむ	水防工法・水防体制・低地河川	山形県内
	12	間 元昭	はざま もとあき	実地指導・水防工法	山形県新庄市近隣
	13	曾根 昭夫	そね あきお	実地指導・講演・水防工法・水防体制	主に宮城県内(東北地方整備局管内は可能)
関 東	1	茂木 弘	もてぎ ひろし	実地指導・講演・水防工法・低地河川	埼玉県 (北部区域) 群馬県 (伊勢崎・太田・館林土木管内) 茨城県 (県境土木管内)
	2	関根 利勝	せきね としかつ	水防工法・急流河川	埼玉県北西部
	3	野中 清司	のなか せいじ	実地指導・水防工法・その他 (縄の結び方)	行田・杉戸県土、北本県土整備事務所管内、群馬県 (館林板倉町)、栃木県 (藤岡町、野木町、古河市)
	4	渡邊 貞夫	わたなべ さだお	実地指導・水防工法	茨城県 (那珂川・久慈川沿川)
	5	白石 明	しらいし あきら	水防工法	千葉県内及び近県
	6	鈴木 薫	すずき かおる	水防工法	千葉県・茨城県・東京都
	7	杉田 昭一	すぎた しょういち	水防工法	千葉県・茨城県・東京都
	8	中村 信明	なかむら のぶあき	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	9	芦沢 義仁	あしざわ よしひと	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	10	天野 久一	あまの ひさかず	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	11	河野 俊彦	こうの としひこ	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	12	有泉 和人	ありいずみ かずひと	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	13	佐々木 秀樹	ささき ひでき	実地指導・水防工法	山梨県内及び近県
	14	上岡 勝治	かみおか かつじ	実地指導・水防工法	栃木県南西部
北 陸	1	土田 和男	つちだ かずお	実地指導・水防工法・その他 (川倉工の模型20ヶ作成・北陸地方整備局河川部、河川系事務所に配布)	北陸地方整備局管内
	2	植木 英仁	うえき ひでひと	実地指導・水防工法・水防体制	新潟県内 (中越地方)
	3	水澤 清春	みずさわ きよはる	講演・水防工法・水防体制	新潟県 (上・中越地域)
	4	石月 升	いしづき のぼる	実地指導・講演・水防工法・急流河川・低地河川	新潟県内
	5	本田 武	ほんだ たけし	水防工法・急流河川	石川県内
	6	井上 明	いのうえ あきら	水防工法・急流河川	石川県内
	7	中田 進	なかだ すすむ	実地指導・水防工法	石川県内
	8	野沢 寛	のざわ ひろし	水防工法・急流河川	石川県内

ブロック	No.	氏 名	ふりがな	得意分野	活動希望地域
北 陸	9	藤田 明	ふじた あきら	実地指導・講演・水防体制・急流河川・低地河川	新潟県・富山県
	10	高村 誠	たかむら まこと	水防工法・急流河川	富山県内（主に東部地区）
	11	高島 潤一	たかしま じゅんいち	実地指導・水防工法・水防体制	富山県内
	12	岩井中 俊一	いわいなか しゅんいち	講演・水防体制・急流河川	富山県内
	13	秋本 修	あきもと おさむ	水防工法、水防体制	長野県北信地区
	14	大日方 正幸	おびなた まさゆき	水防工法・急流河川	長野県安曇野市内（中信地区）
中 部	1	加藤 勝彦	かとう かつひこ	実地指導・水防工法・急流河川	岐阜県内、あるいは東海地方
	2	石井 孝昌	いしい たかまさ	実地指導・水防工法・水防体制	中部地方
近 畿	1	南 哲夫	みなみ てつお	講演・水防体制	北陸地方
	2	桜井 庄二	さくらい しょうじ	実地指導・その他（土のう作り）	福井県嶺北地区
	3	裕永 正光	まつなが まさみつ	実地指導・講演・水防工法	大阪府内
	4	竹田 道雄	たけだ みちお	実地指導・水防工法	大阪府内
	5	福井 保	ふくい たもつ	実地指導・水防工法・低地河川	兵庫県内
	6	飯田 憲三	いいだ けんぞう	水防体制	奈良県内
	7	池田 正	いけだ ただし	水防体制	奈良県内
	8	中岡 一晃	なかおか かずあき	水防体制	奈良県内
	9	岩崎 好生	いわさき よしお	実地指導・水防工法・水防体制	和歌山県海南市
中 国	1	筏津 純一	いかだつ じゅんいち	水防工法	鳥取県（中部地区）
	2	原 洋信	はら よしのぶ	水防工法	鳥取県西部地方
	3	永田 瑞穂	ながた みずほ	水防工法・急流河川・低地河川	鳥取県内
	4	米田 明德	よねだ あきのり	水防体制	鳥取県内
	5	竺原 章之	じくはら ふみゆき	水防体制・低地河川	鳥取県内
	6	福田 洲夫	ふくだ くにお	水防体制	鳥取県内
	7	竹下 一郎	たけした いちろう	実地指導・水防工法	島根県内
	8	江角 俊明	えずみ としあき	水防工法・水防体制・低地河川	島根県内
	9	大月 浩	おおつき ひろし	実地指導・水防工法	岡山県内
	10	太田 進一	おおた しんいち	実地指導	岡山県内
	11	大戸 清	おおと きよし	実地指導・水防工法	岡山県（南部地域）
	12	劔持 正義	けんもつ まさよし	実地指導	岡山県岡山市、または倉敷市地域
	13	木下 善雄	きのした よしお	実地指導・低地河川	岡山県倉敷市、岡山市地域
	14	菅野 尚秀	すがの なおひで	水防体制・低地河川	広島県（備北地方）
	15	伊藤 孝二	いとう こうじ	講演・水防体制	広島県内
	16	平木 昇	ひらき のぼる	水防工法・水防体制	広島県内
四 国	1	岡田 周三	おかだ しゅうぞう	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	愛媛県内
	2	曾我 正富	そが まさとみ	実地指導	愛媛県東予地方
	3	高橋 徹馬	たかはし てつま	実地指導・水防工法	愛媛県内（要請があれば四国内）
	4	武智 進	たけち すずむ	実地指導・水防工法・水防体制	愛媛県内
	5	原田 重信	はらだ しげのぶ	実地指導・講演・水防工法・水防体制・急流河川・低地河川	四国四県の内、主に愛媛県内
	6	三橋 守	みつはし まもる	実地指導・水防工法	徳島市内
	7	本田 敏雄	ほんだ としお	実地指導・水防工法	徳島県阿南市地方
	8	阿部 正利	あべ まさとし	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	徳島県南地方

ブロック	No.	氏 名	ふりがな	得意分野	活動希望地域	
四 国	9	高崎 信三	たかさき しんぞう	実地指導・水防工法	徳島県内	
	10	田村 猛	たむら たけし	水防工法・低地河川	徳島県内	
	11	武市 寛	たけいち ゆたか	実地指導・水防工法・低地河川	徳島・香川県内	
	12	山本 邦一	やまもと くにいち	実地指導・講演・水防工法・急流河川	徳島県内、その他（四国地方直轄河川技術講習会等講演技術指導含む）	
	13	毛利 元強	もうり もとよし	実地指導・水防工法・低地河川	高知県幡多地方	
	14	田村 嘉範	たむら よしのり	その他（水防活動とダム管理に関する事項）	高知県中部地域	
	15	古屋 賢二	ふるや けんじ	実地指導・水防工法	高知県内	
	16	岡崎 健一郎	おかざき けんいちろう	実地指導・水防工法	高知県内（四国地方整備局関係の地方）	
	17	小松 隆	こまつ たかし	水防工法	高知県（中部地域）	
	18	立石 耕一	たていし こういち	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	高知県（香美・香南・高知・土佐 各市、いの町、春野町等）、中部地方	
	19	森岡 正男	もりおか まさお	実地指導・講演・水防工法・水防体制・急流河川・低地河川	高知県内	
	20	前中 良啓	まえなか よしひろ	水防工法	高知市周辺市町村	
	21	文野 博隆	ぶんの ひろたか	その他（水防訓練・工法指導）	高知県（仁淀川・物部川）	
	22	濃野 千秋	のうの ちあき	実地指導・水防工法・急流河川	愛媛県中予地方	
	23	上岡 政夫	かみおか まさお	実地指導・水防工法・低地河川	高知県四万十市周辺（数人で対応したい）	
	24	榊田 久雄	ますだ ひさお	水防工法	徳島県阿南市内地方	
	25	山崎 宏教	やまさき ひろみち	実地指導・水防工法	高知県内	
	九 州	1	大串 好春	おおぐし よしはる	水防体制・低地河川	福岡県内、佐賀県内
		2	山下 洋征	やました ひろゆき	実地指導・水防工法・急流河川・低地河川	福岡県内
		3	松延 正外	まつのぶ まさと	低地河川・その他（現役の時に水防体制に従事。経験有り）	福岡県筑後地方
		4	城戸 達則	きど たつり	実地指導・水防工法	福岡県内
		5	矢野 日出東	やの ひでと	水防工法・水防体制・低地河川	福岡県内
		6	山崎 忠雄	やまさき ただお	実地指導・水防工法・低地河川	佐賀県内
		7	小塚 柁	こづか まさき	実地指導・水防工法・低地河川	佐賀県内
		8	井原 邦明	いはら くにあき	実地指導・講演・水防工法・急流河川・低地河川・その他（雲仙土砂対策経験・昭和34年諫早大水害経験）	九州管内、ただし、長崎県及び福岡市内
9		田上 幸男	たのうえ ゆきお	実地指導・講演・水防工法	熊本県内	
10		鶴野 秀登	つるの ひでと	実地指導・水防工法・水防体制	熊本県北部地域及び福岡県南部地域	
11		矢田 國人	やだ くにと	その他（水防工法と水防体制の実地指導を望みたい）	熊本県球磨川流域	
12		安永 正弘	やすなが まさひろ	水防体制	熊本県球磨川流域	
13		首藤 敏和	しゅと としかず	実地指導・水防体制	大分県内中心	
14		赤木 宣威	あかき のぶたけ	水防工法	宮崎県内～鹿児島県まで	
15		佐藤 徳雄	さとう のりお	実地指導・水防工法・低地河川	宮崎県内	
16		前田 忠夫	まえだ ただお	水防工法・急流河川	鹿児島県内	
17		柳元 裕市	やなぎもと ゆういち	水防工法・水防体制・低地河川	鹿児島県内	
18		山下 忠道	やました ただみち	水防工法	熊本県内	

協会だより

平成21年度 災害復旧実務講習会開催要領

- 1. 開催日 平成21年5月13日(水)～5月14日(木)の2日間
- 2. 会場 日本消防会館（ニッショーホール）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門
2丁目9番16
TEL. 03 (3503) 1486
- 3. 講義内容 別紙（日程表）のとおり
- 4. 受講者数 700名程度（定員に達し次第締切らせていただきます）
- 5. 申込締切 平成21年4月24日(金)
(申込手続きはなるべくお早めにお願ひします)
- 6. 受講費 ①1人 12,000円
及び (テキスト代 9,000円・受講費
振込方法 3,000円)
②「受講票」送付の際に同封致します
【振込用紙】によりお振込み下さい。
なお、当日現金でのお支払いも可能です。

TEL：03-3508-1491
FAX：03-3508-1493
Eメール：
zenkokubousai@pop02.odn.ne.jp
ホームページ：
http://www.zenkokubousai.or.jp
担当；小沼、大社

- 9. 受講票等 受講者には申込があり次第、協会より「受講票」を代表責任者に一括送付致しますので、参加申込の方にお渡し下さい。
当日「受講票」を会場受付にて、ご提出下さい。
- 10. その他 ①受講費等は不参加の場合でも返金いたしません。但し、受講者の変更は差し支えありません。
②講師の都合により、日程等の一部変更もあり得ますので、予め御了承下さい。
③宿泊の斡旋は致しません。

みずほ銀行 新橋支店
普通預金 口座番号 1412439
銀行口座名 社団法人 全国防災協会

- 7. 申込方法 各都道府県ごとに都道府県代表責任者1名を定め、別添申込用紙に必要事項をご記入の上、当協会あて郵送・FAXまたはメール等で送付して下さい。
なお、各都道府県の部署ごとや市町村単独でのお申込みも可能です。
申込書については当社ホームページにも掲載しておりますので、ご利用下さい。
- 8. 申込先 社団法人 全国防災協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-16-2
虎ノ門東鉦ビル6F



平成21年度 災害復旧実務講習会日程 (案)

於：東京都港区 日本消防会館 (ニッショーホール)

月 日	時 間	講 義 題 名	講 師 名
(1日目) 5月13日(水)	12:00~13:00	受 付	
	13:00	開 講	(社)全国防災協会 事務局長 加藤 浩 己
	13:00~13:10	主催者挨拶	(社)全国防災協会 会長 陣内 孝 雄
	13:10~13:20	来賓挨拶	国土交通省河川局 防災課長 細見 寛
	13:20~14:20	最近の自然災害と防災上の課題と対応について	国土交通省河川局防災課 水防企画官 貫名 功 二
	14:20~15:20	災害事務の取扱いについて	国土交通省河川局防災課 課長補佐 塚田 政 行
	15:20~15:30	休 憩	
	15:30~17:30	①災害採択の基本原則について ②復旧工法のポイントと留意点について	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官 大谷 博 信
(2日目) 5月14日(木)	9:30~10:00	受 付	
	10:00~11:00	災害復旧における環境への取組について	国土交通省河川局防災課 課長補佐 長野 拓 朗
	11:00~12:00	改良復旧事業について	国土交通省河川局防災課 課長補佐 高木 優
	12:00~13:00	昼食・休憩	
	13:00~13:30	災害査定の迅速化への取り組みについて	岩手県県土整備部砂防災害課 技術副主幹 笹原 敬 悦
	13:30~14:00	平成20年度 優秀災害復旧事業技術発表 受賞紹介 最優秀賞 平成17年災 山附川河川等災害関連事業	宮崎県高千穂町建設課 土木係長 有藤 寿 満
	14:00~15:30	平成20年発生災害採択事例について	国土交通省河川局防災課 災害査定官 山科 勝 嗣
	15:30	閉 講	

(注) 講義内容及び講師については、4月1日現在の(案)であり、変更される場合もあり得ますので、念のため申し添えます。

協会だより

平成21年度 通常総会開催要領 (案)

1. 日 時

平成21年6月18日(木)～19日(金)

① 総 会 平成21年6月18日(木)

14:00～16:15 (受付開始13時)

(通常総会、災害復旧促進要望決議、功労者表彰及び特別講演)

※理事会を12:30～13:50に開催します。

② 現地視察 平成21年6月19日(金)

※日程の詳細は別紙参照

2. 会 場

〒910-0858 福井市手寄1-4-1

AOSSA (アオッサ) 8階

福井県民ホール

(JR 福井駅東口より徒歩1分)

TEL: 0776-87-0003

3. 参加人員

各都道府県から15名程度ご参加下さい。

4. 申込方法及び申込締切

① 総 会

各都道府県毎に代表者1名を定め、別紙様式に必要な事項を記入の上、当協会あて郵送、FAX又はEメール等で送付して下さい。

なお、各都道府県の部署毎や市町村単独でのお申し込みも可能です。

申込先 社団法人全国防災協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-2

虎ノ門東鉦ビル6F

TEL: 03-3508-1491

FAX: 03-3508-1493

Eメール: zenkokubousai@pop02.odn.ne.jp

② 現地視察

現地視察参加の方は、申込書の「現地視察」欄

参 ・ 不

に、参加及び不参加を○で囲んで表示して下さい。

なお、本年の視察コースは、1コースのみとなります。

集合場所及び解散場所: JR 福井駅東口

③ 申込締切 平成21年5月22日(金)

5. 現地視察参加費用及び支払い方法

① 参加費 (バス代) お一人 5,000円

② 支払い方法

お申し込み頂くと「現地視察乗車票」を送付します。その際同封します振込用紙にてお振り込み下さい。

なお、6月18日の総会の受付にて、現金でお支払い頂くことも可能です。

振込先 みずほ銀行 新橋支店

普通預金 口座番号 1412439

口座名義 社団法人 全国防災協会

6. 申込票等

お申し込みを頂きますと当協会より「通常総会資料引換票」及び「現地視察乗車票」等を都道府県代表者に一括送付しますので、参加予定の方にお渡し下さい。

なお、通常総会当日に「通常総会資料引換票」を、現地視察当日に「現地視察乗車票」を受付に提出して頂きます。

7. 参加者の変更

参加者の変更は、5月29日(金)までに、当協会あてFAX又はEメール等でご連絡願います。

8. 宿泊等

宿泊場所の斡旋は特に行いません。各自ご手配下さい。

なお、(財)福井観光コンベンション協会のホームページ(下記URL)にて、JR 福井駅周辺(福井市中心部)のホテルがご覧頂けます。

<http://www.fukuicity-nzvi.com/convention/index.html>

9. その他

申込に必要な様式等は、当協会のホームページにも掲載する予定です。

URL <http://www.zenkokubousai.or.jp>

平成21年度 通常総会 大会次第 (案)

会 場：AOSSA 8 階 福井県民ホール
時 間：14：00～16：15

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議長推挙

4. 来賓挨拶・災害対策概要説明

5. 来賓紹介

6. 議事録署名人指名

7. 議案審議

議案第 1 号 平成20年度事業報告について
議案第 2 号 平成20年度収支報告について
(監事より監査結果報告)

議案第 3 号 平成21年度事業計画 (案) について
議案第 4 号 平成21年度収支予算 (案) について
議案第 5 号 平成22年度通常総会の開催地について

そ の 他

8. 災害復旧事業促進に関する要望決議採択

9. 災害復旧及び災害防止事業功労者表彰

10. 特別講演

「平成16年福井豪雨による土木構造物の被害について」

^{あらい}荒井 ^{かつひこ}克彦氏 国立大学法人福井大学大学院工学研究科教授
工学博士

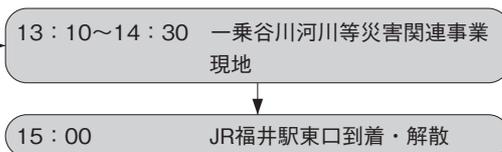
11. 閉会

現地視察要領 (案)

1. 出発日時及び場所

平成21年 6 月19日(金) 9 時
(集合時間：8 時45分)
JR 福井駅東口

2. 視察コース



J R	福井駅発	行先着
	15:36 しらさぎ12号	名古屋 17:46
	15:44 サンダーバード32号	大阪 17:35
	15:38 サンダーバード25号	富山 17:07

空路	発時刻	行先着
	15:32 福井駅北 バス乗場発	小松空港 16:28
	17:15 ANA758	東京羽田空港 18:25

平成21年 発生主要異常気象別被害報告

平成21年 4月15日現在 (単位:千円)

	冬期風浪及び風浪		豪 雨		地 す べ り		融 雪		地 震		梅 雨 前 線 豪 雨		台 風		そ の 他		合 計	
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
北海道 青森	2 <1>	87,000 <10,000>													1	12,500	3 <1>	99,500 <10,000>
岩手 宮城 秋田	1	10,000			1	18,000											2	28,000
山形 福島 茨城 栃木 群馬																		
埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟			3	18,000													3	18,000
富山 石川 福井 山梨 長野	2	90,000			1	40,000	3	15,000							1	15,000	4 1 2	55,000 15,000 90,000
岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀					1	200,000											1	200,000
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山			14	178,500													14	178,500
鳥取 島根 岡山 広島 山口	4	237,000			1	19,500											5	256,500
徳島 香川 愛媛 高知 福岡			1	19,000													1	19,000
佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎																		
鹿児島 沖縄			4	37,200													4	37,200
札幌 仙台 さいたま 千葉 川崎 横浜 新潟 静岡 浜松 名古屋 京都 大阪 堺 神戸 岡山 広島 北九州 福岡																		
補助計	<1> 10	<10,000> 574,000		255,600	4	277,500	5	38,800							2	27,500	44	1,173,400
直轄計	1	30,000															1	30,000
合計	11	604,000	23	255,600	4	277,500	5	38,800							2	27,500	45	1,203,400

※上段 () 内書きは、下水道・公園分、< >内書きは港湾・港湾に係る海岸分である。